

平成29年度 富士見市下水道事業会計予算（概要）

1 予算概要

(1) 予算編成概要

下水道事業の取り巻く環境は、人口増加の鈍化や生活様式の多様化、節水意識の定着や節水器具の普及などにより、下水道収益の大きな伸びが期待できない状況である。

公共下水道汚水事業については、水子地区の舗装本復旧工事を実施し、南畑地区は引き続き計画的に整備促進を図る。

また、公共下水道雨水事業については、別所雨水ポンプ施設の計画的な更新事業を行うとともに別所雨水幹線について順次整備を図る。

今後も市民生活の安心・安全のため、都市環境の改善を図り、都市の健全な発展と公衆衛生の向上や公共用水域の水質保全に資するため、計画的に整備を進めるとともに、維持管理に努め、経費の削減はもとより、健全で効率的な経営を推進するための予算を編成した。

(2) 予算規模

第3条予算（収益的収入及び支出）の税込収入は、前年度比1.06%減の18億1,833万1千円、支出は、前年度比1.92%減の15億4,918万6千円で、収支差引で2億6,914万5千円の黒字となっている。

第4条予算（資本的収入及び支出）の税込収入は、前年度比46.94%減の8億3,709万2千円、支出は、前年度比35.69%減の15億237万5千円となり、収支差引では6億6,528万3千円の赤字が見込まれる。

(3) 財源不足額

第4条予算の赤字分については、損益勘定留保資金等で補填する。

2 予算（収入）の主な特徴

(1) 3条予算（収益的収入）

○ 営業収益

下水道使用料は、人口増加の鈍化や生活様式の多様化、節水意識の定着や節水器具の普及などにより、一般世帯からの収益は伸び悩んでおり、前年度比0.06%増の9億8,103万3千円の見込みとなる。

他会計負担金は、主に一般会計からの繰入金として、前年度比6.26%減の3億1,119万9千円とした。

- 営業外収益
他会計補助金は、2億1,000万円。
長期前受金戻入は、3億1,377万9千円。
雑収益は177万6千円とした。

(2) 4条予算（資本的収入）

- 企業債は、前年度比52.33%減の5億6,040万円。
- 国庫(県)補助金は、前年度比65.44%減の7,800万円。
- 負担金は、受益者負担金と一般会計からの繰入金等として、前年度比12.75%増の1億9,869万2千円とした。

3 予算（支出）の主な特徴

(1) 3条予算（収益的支出）

- 営業費用
 - ① 管渠費は、管渠の維持管理に要する経費で、主に委託料、修繕費、工事請負費、負担金等で前年度比5.47%減の5億37万5千円とした。
【主な支出】
 - ・荒川右岸流域下水道維持管理負担金 3億9,038万2千円
 - ・維持管理・監視業務・保守点検等業務委託 4,256万1千円
 - ・人孔蓋取替工事等 1,169万円
 - ② 業務費は、使用料徴収業務等に要する経費で、前年度比11.33%減の4,301万2千円とした。
【主な支出】
 - ・下水道使用料徴収事務委託 3,700万1千円
 - ③ 総係費は、前年度比8.01%増の3,000万9千円とした。
【主な支出】
 - ・貸倒引当金繰入額 394万3千円
 - ④ 減価償却費は、構築物の減価償却などとして、7億5,543万3千円とした。
- 営業外費用
 - ① 支払利息は、前年度比14.18%減の2億471万8千円とした。
 - ② 消費税及び地方消費税の納税予定額を1,402万円とした。
- 特別損失
 - ① 過年度損益修正損は、54万円とした。

(2) 4条予算（資本的支出）

- 建設改良費
 - ① 公共下水道建設事業費は、前年度比69.78%減の2億8,818万9千円とした。

【主な支出】

委託料 1億7,443万円

- ・別所雨水ポンプ場施設工事委託
(平成29～30年度継続費・平成29年度分)
- ・実施設計委託料等

工事請負費 9,166万円

- ・柳瀬第9污水管渠築造工事
- ・私道対策事業
- ・舗装本復旧工事
- ・公共下水道管渠築造工事(西口)

- ② 特定環境保全公共下水道建設事業費は、前年度比27.86%減の3億36万3千円とした。

【主な支出】

委託料 1,300万円

- ・実施設計(新河岸第14・16)

工事請負費 2億6,730万円

- ・新河岸第12-2-2污水管渠築造工事
- ・新河岸第14污水管渠築造工事
- ・舗装本復旧工事

- ③ 流域下水道事業費は、前年度比34.79%減の5,016万1千円とした。

【主な支出】

負担金 5,016万1千円

- ・荒川右岸流域下水道事業建設負担金

- ④ 固定資産購入費は、730万円とした。

【主な支出】

- ・施設用地購入費

○ 償還金

企業債償還金は、前年度比2.90%減の7億8,017万8千円とした。

- ・公共下水道償還金 5億2,072万円
- ・流域下水道償還金 9,998万7千円
- ・特定環境保全公共下水道償還金 1億3,804万9千円
- ・資本費平準化償還金 2,142万2千円

企業債の平成29年度末未償還残高は、84億814万7千円となる見込みである。

■平成29年度富士見市下水道事業会計予算

収益的収入及び支出

収入

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	対前年度増減額
下水道事業	収益		1,818,331	△ 19,490
	営業	収益	1,292,712	△ 19,795
		下水道使用料	981,033	622
		他会計負担金	311,199	△ 20,772
		その他の営業収益	480	355
	営業外	収益	525,618	305
		受取利息	63	△ 99
		他会計補助金	210,000	△ 40,000
		長期前受金戻入	313,779	82,475
		雑収益	1,776	0
		消費税及び地方消費税還付金	0	△ 42,071
	特別	利益	1	0
		過年度損益修正益	1	0

支出

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	対前年度増減額
下水道事業	費用		1,549,186	△ 30,266
	営業	費用	1,329,108	△ 10,273
		管渠費	500,375	△ 28,931
		業務費	43,012	△ 5,494
		総係費	30,009	2,226
		水洗化促進費	279	△ 1
		減価償却費	755,433	21,927
	営業外	費用	219,038	△ 19,993
		支払利息	204,718	△ 33,813
		雑支出	300	△ 200
		消費税及び地方消費税	14,020	14,020
	特別	損失	540	0
		過年度損益修正損	540	0
	予備	費	500	0
		予備費	500	0

■平成29年度富士見市下水道事業会計予算

資本的収入及び支出

収入

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	対前年度増減額
資	本	的 収 入	837,092	△ 740,535
	企	業 債	560,400	△ 615,300
		企 業 債	560,400	△ 615,300
	国	庫(県)補助金	78,000	△ 147,700
		国 庫(県)補助金	78,000	△ 147,700
	負	担 金	198,692	22,465
		負 担 金	198,692	22,465

支出

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	対前年度増減額
資	本	的 支 出	1,502,375	△ 833,925
	建	設 改 良 費	721,197	△ 810,636
		建 設 総 係 費	75,184	△ 9,574
		公 共 下 水 道 費	288,189	△ 665,600
		公 建 設 事 業 費		
		特 定 環 境 保 全 公 共 費	300,363	△ 116,000
		下 水 道 建 設 事 業 費		
		流 域 下 水 道 事 業 費	50,161	△ 26,762
		固 定 資 産 購 入 費	7,300	7,300
	償	還 金	780,178	△ 23,289
		企 業 債 償 還 金	780,178	△ 23,289
	予	備 費	1,000	0
		予 備 費	1,000	0